

このページは読み上げ機能に一部対応していない場合があります。
ご不明な点につきましては、直接学校までお問い合わせください。

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

千葉県八千代市		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
八千代市立大和田西小学校	八千代市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
八千代市立大和田西小学校	https://www.yachiyo.ed.jp/eonisi/gaiyo/hyouka/	

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

予測困難なこれからの時代（Society5.0）で生きていく子供たちに必要とされる資質・能力を育成するために八千代市では、ESD教育を推進している。

そのために小学校1・2学年において、「言語活動科」を特設している。「言語活動科」においては、地域ボランティアと連携したり、ALTが担任とともに行うイメージョン学習等を進めている。第1・2学年は、国語科から10時間、生活科から10時間、音楽科から14時間（2学年は15時間）「言語活動科」に充てる。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、一人一人が持続可能な社会の担い手として新たな価値を生み出していくことのできる人材の育成を目指し、ESDの推進、SDGsの達成を目指している。特に本校は、令和元年度からユネスコスクールの加盟申請を目指し、本年度チャレンジ期間に入った。そのため、グローバル社会に対応した国際教育と先進的な外国語教育を推進するため、外国語を通じて言語や文化について低学年から体験的に理解を深める必要性がある。

(3) 特例の適用開始日

平成25年4月1日 平成30年4月1日（変更）

(4) 取組の期間

令和3年4月1日～令和5年3月31日

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

「特記事項なし」

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校の教育目標は、「よく考え 仲よく 元気に やりぬく子」である。低学年より、「言語活動科」を特設することにより、国際教育・外国語教育に重点をおき、外国の生活や文化・言語に関心をもたせるとともに、コミュニケーション能力の育成やグローバル社会に対応できる人材の育成をイメージ学習等で推進している。話す力はついてきており、外国語への抵抗が少ないため、第3・4学年の外国語活動への取組が大変スムーズである。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

昨年度の、全国学力状況調査の結果を見ると、記述式の問題を苦手とする傾向がある。特例校になって年数が浅いため、更なる強化が必要である。

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示すような課題を踏まえて、第1学年から第6学年の児童の育成を総括して考えるというカリキュラム・マネジメントが必要と考える。ESD・SDGsの視点を踏まえ、カリキュラムを再編していきたい。